

張口

一鞘の長き(寸身)の長き(寸身)
はかばか(寸身)

はかばか(寸身)

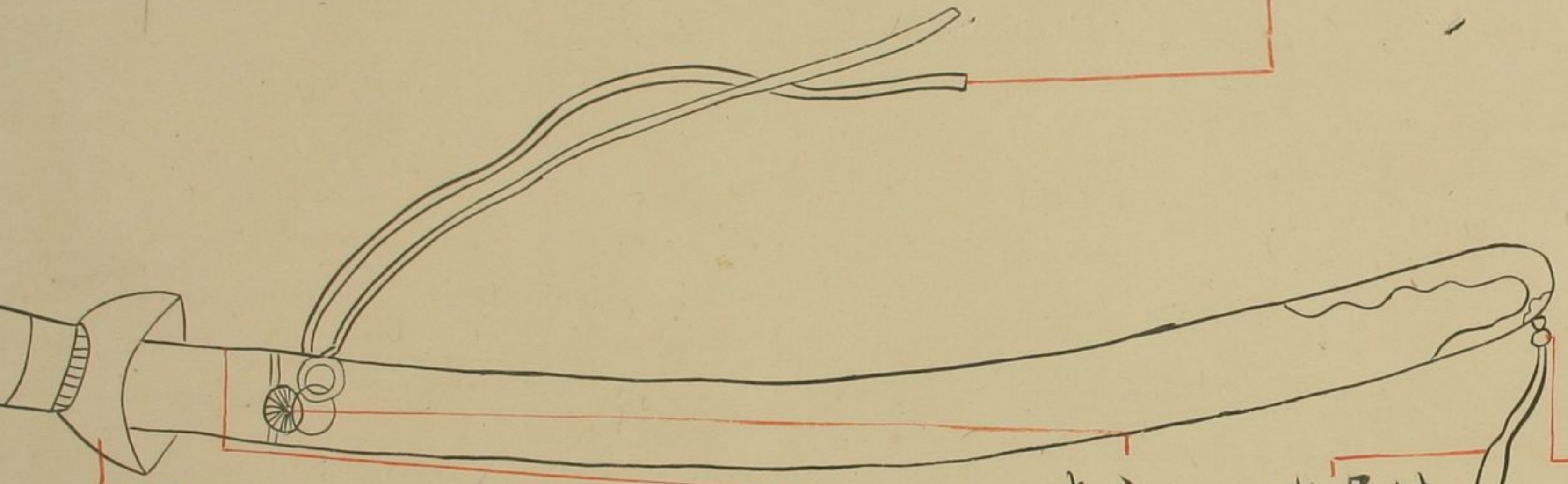
はかばか(寸身)
付は(寸身)

はかばか(寸身)
おま(寸身)

はかばか(寸身)
おま(寸身)

はかばか(寸身)
おま(寸身)

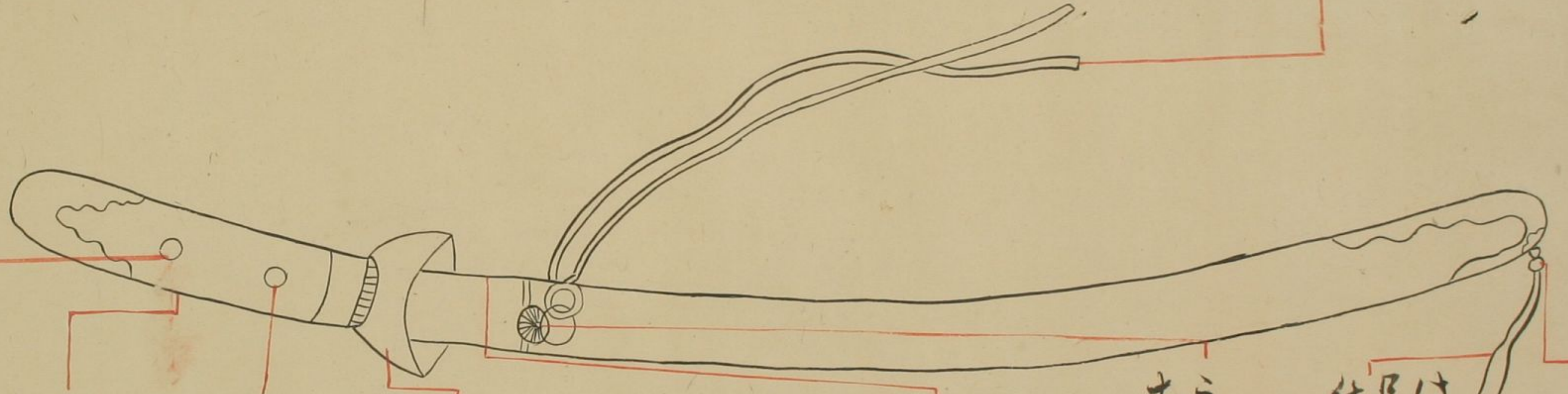
はかばか(寸身)
おま(寸身)



早稲田大学
図書館蔵書



此の刀は、
 江戸の
 名匠の
 手による



此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

此の刀は、
 江戸の

目打は柄の
付は二重

片流葉柄後から
あまはるしと云

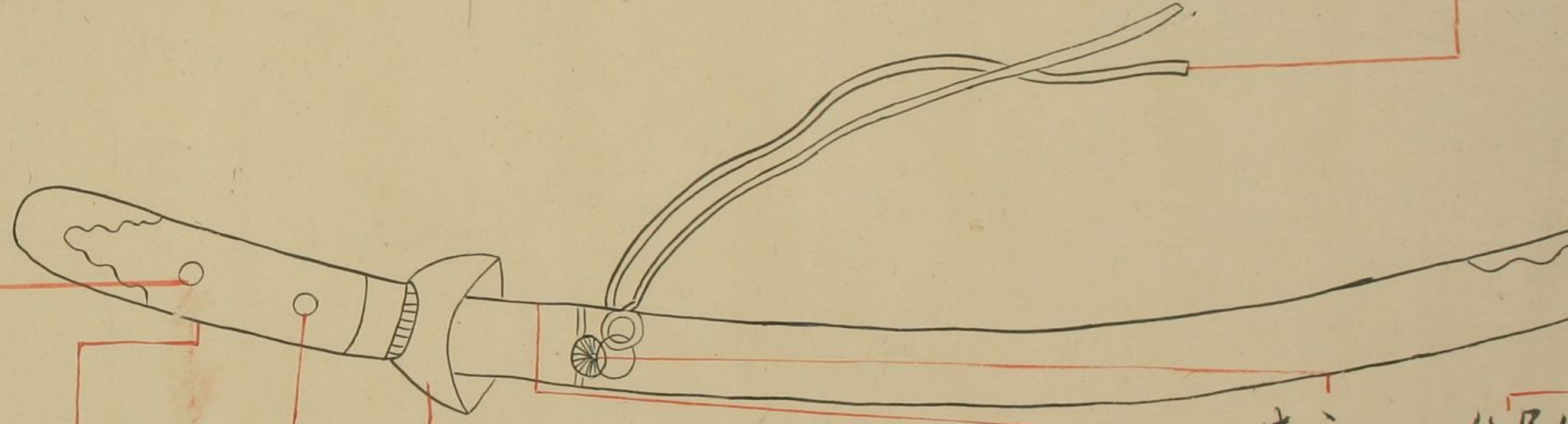
しこのまのいは
こすかかしくとね
もしらこ流絶の
玉入の口の付は
何れと云

試は浮水の内
ふ入るうに伝

目打二重は流絶
乃ゆらけと云

柄は木杵より
此とを針か
竹を小と云
とと糸と皮と云
ま〜と云

目打流絶と目打
ま〜と云



目打は流絶の
目打は流絶の
目打は流絶の

一討の目打は流絶の
目打は流絶の

勝新河

一討の必勝を候ふに物敷家の
の好むものありて一果も人むす
若かりしは是れ人むすのありて
一掃の必勝法念ふ人のむすのありて
流るる者自然にけしむ敵は使は
まのむすは待たざるなりとて
一抜の逆手に抜るるはむすのありて
一石のむすもむすのありてむす
たのむすもむすのありてむす
さむすのありてむすのありて

とて一むすのありてむす

初めはむすのありてむす

むすのありてむす

勝新河

之候

勝新河

古藤

勝新河

名

勝野川

正長

羽田



直政

宝永

永井